

「群馬県立文書館の今後の方針と取組」の目標達成状況一覧表

条例＝「群馬県公文書等の管理に関する条例」

	具体的な取組	目標の概要	H25の状況	H30の状況	R5の状況
1	文書の収集・整理・保存機能を充実させる。				
	(1) 収集				
	① 収集基準の整理、公表	収集基準の公表	公表していない	公文書収集要領をHPで公表	条例及び同施行規則に基づき運用
	② レコードスケジュールの導入促進	レコードスケジュールによる公文書の移管	導入されていない	情報収集と問題点等の検討	条例施行によりレコードスケジュールが導入
	③ デジタルデータ(DVD等を含む)の収集・整理の推進	新たにデジタル収集、デジタル化した資料の件数	54件	5年間で93,554コマ	県立図書館とのデジタルアーカイブ連携開始
	(2) 整理				
	④ 目録作成・点検の迅速化	目録作成点数(公・件名目録、古・契約、仮目録)	公:約1,000 古:18,978	公:2,798 古:23,153	・公:826 古:10,833 ・特定歴史公文書は、条例により移管から1年以内の目録掲載
	⑤ 収集文書等の再評価による整理促進	再評価による整理、公開の点数	18点	情報収集と問題点等の検討	条例施行前の収集文書を、みなし特定歴史公文書として順次再評価を実施
	⑥ 総務事務システムとの連携	文書館システムと総務事務システムの連携	連携していない	手処理で情報を取り込み	・総務事務(文書管理)システム入替により連携方法を再検討 ・文書館システムの構築を検討中
	(3) 保存				
	⑦ IPM(総合的病害虫管理)の推進と燻蒸の在り方の検討	二酸化炭素燻蒸実施の回数	実施していない	3回	・CO2:1回、エキヒューム:6回 計7回 ・エキヒューム製造中止により、新たな方策を検討中
	⑧ 重要文化財等の適正な管理	保存ガイドライン、緊急事態対応マニュアル作成	作成なし	検討を継続	群馬県立文書館危機管理マニュアルにおいて重要文化財の保護の方法を明記
	⑨ 書庫の収蔵計画の作成	書庫の棚の整理(スペース確保)	なし	書庫内を整理	書庫内の整理を行い、新館では特定歴史公文書等を再配架し、適切に収納
2	利用・サービス機能を向上させる。				
	(1) 公開				
	⑩ 収蔵資料の公開促進	新規公開点数(年間)	公:857 古:9,953	公:982 古:10,050	公:826 古:10,833
	⑪ 閲覧制限基準の整理、公表	閲覧制限基準の公表	公表していない	情報収集と問題点等の検討	条例に基づく利用請求に対する処分に係る審査基準を制定・公表した
	⑫ 収蔵文書情報(非閲、未整理文書を含む)の公表と審査公開制度の導入	非閲、未整理文書の目録公表数	公表していない	情報収集と問題点等の検討	情報収集と問題点等の検討
	⑬ 閲覧制限する文書の取扱方法の検討	非閲覧部分を含む文書の新規公開点数	なし	情報収集と問題点等の検討	整理手順書を策定
	⑭ 不服申立てへの対応	不服申立て制度の確立	制度なし	情報収集と問題点等の検討	条例内で規定済み
	⑮ デジタル資料(DVD等を含む)の公開	デジタル収集、デジタル化した資料の新規公開点数	なし	デジタルアーカイブビューアで累計23,534コマを公開	LA連携によるインターネット上での公開について、二次利用等の関係例規を検討中
	(2) 閲覧				
	⑯ 他館の資料検索システムとの連携	他館との横断検索の実現	なし	検討を継続	LA連携での公開データは横断検索可能
	⑰ 閲覧室のサービスの充実	閲覧室の整備	整備なし	デジタル機器整備済み	閲覧室の書架を群馬県産木材製に更新等
	(3) 施設				
	⑱ 老朽化した施設・設備の計画的な整備	緊急性の高いものから整備	外壁改修工事	計画的に整備を実施	計画的に整備を実施
	⑲ 立ち寄りやすい雰囲気づくりの推進	雰囲気づくりのための工夫、整備	ロビー展示開始	雰囲気づくりの整備	ロビーの机等に群馬県産木材を使用し、温かい雰囲気を醸成

具体的な取組		目標の概要	H25の状況	H30の状況	R5の状況
3 教育普及事業を充実させる。					
(1) 普及活動					
・全体					
㊸ 教育普及事業の再構築	既存事業を継続する中で見直しを行い、再構築した事業を実施			各種教育普及事業について随時見直し	新型コロナ対策を行いながら、古文書講座や学校連携等の事業を実施
・個別					
㊹ アーカイブズの普及	既存事業を継続する中で見直しを行い、より効果的な事業の実施	「国際アーカイブズの日」記念行事の開催		テーマ展示等による、アーカイブズへの理解促進	Facebookで定期的な情報発信
㊺ ホームページによる情報発信の充実	ホームページのリニューアル			リニューアルの実施	県HPのサブサイトへ移動
㊻ 古文書講座の充実	講座修了者数	累計3,877人	累計4,525人	累計5,144人	
㊼ 展示の在り方の検討、工夫	よりタイムリーな展示計画の策定と他館との連携展示の実施	作成なし		テーマ展示の工夫	テーマ展示をインターネット上でも公開
㊽ レファレンス業務の充実	古文書解読学習団体等ボランティアによるレファレンスの実施	実施なし		レファレンス担当の分担化	・メール等でのレファレンスの実施 ・回答事例のHPでの公開
(2) 学校教育					
㊾ 学校教育における普及活用事業の検討	学校等との連携事業実施	実施なし		・学校連携の実施 ・小学校社会科研究協議会での利用促進等	・学校連携の実施 ・教育センター教職員向け研修プログラムへの参画 ・教育現場を支援するための教材化史料のHP公開
4 文書に関する調査研究を行う。					
(1) 調査					
㊿ 寄託者の所在把握	定期的な状況の把握	206件(状況把握)		計画的な寄託者の所在確認の実施	計画的な寄託者の所在確認の実施(R5～6事業、R5実績41件)
㊽ 文書調査員等による文書調査の充実	文書調査(調査員、職員)の件数	22件		県史調査時に把握した文書群の追跡調査の実施	県史追跡調査としてアンケート調査の実施(272件)
(2) 研究					
㊾ 資料の保存、活用等についての研究の蓄積	『双文』の発行、研究報告会	1回、報告なし		『双文』第35号発行見送り	『双文』第39号発行見送り
5 専門的な人材を育成する。					
㊿ 専門的知識を持った人材の確保及び職員の資質向上のための研修機会の確保	館内研修会の実施	1回		外部専門研修への計画的な参加	外部専門研修への計画的な参加
㊽ 古文書解読学習団体や公募等によるボランティア活用	ボランティアの人数	なし		ボランティア活用の検討	ボランティア5名の活躍
6 関係機関・団体との連携を推進する。					
㊿ 県関係課、歴史博物館、図書館、大学等の他施設との連携推進	交流会の回数	個別に交流		群馬県博物館連絡協議会への参加	群馬県博物館連絡協議会への参加 群馬県文化財防災ネットワーク連携協議会への参加
㊽ 市町村との連携強化	災害時ネットワーク構築、文書救済支援体制整備	なし		群文協事務局として研修等の実施	群文協事務局として研修等の実施
㊾ 地域の歴史研究団体、古文書学習団体等との連携・支援・育成	連携事業の回数	なし		インターネット古文書講座の充実	自主的な学習団体への研修室貸出 「続・ぐんまの古文書」の販売 出張古文書講座の実施(1回)